

Drive Your **Teenage** Dreams.

HIACE THE CREWVAN

CITY LIFE & OUTDOOR

マットクリア塗装

メンテナンスガイドブック

■ CONTENTS

一般的なクリア塗装とマットクリア塗装の違い

お手入れ・キズの補修

洗車の仕方

よくあるご質問

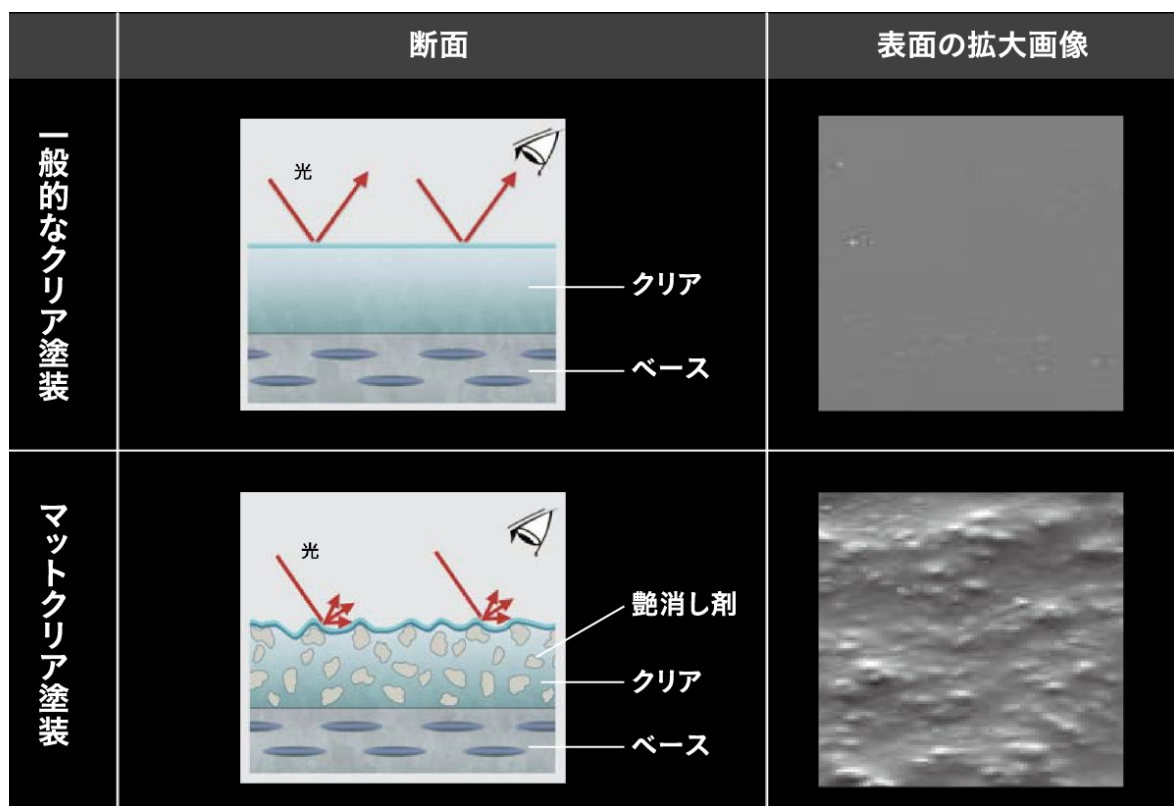
仕上がりの注意点

この「マットクリア塗装」メンテナンスガイドは、HIACE THE CREWVANに施されたマットクリア塗装について説明しています。

マットクリア塗装は一般的なクリア塗装と異なり、取り扱いに特別な注意が必要です。洗車やお手入れをする前に本書をよくお読みになり、マットな質感を損なわないよう十分ご注意ください。

※マットクリア塗装以外のお手入れに関しては、車両本体の取扱説明書をお読みください。

一般的なクリア塗装とマットクリア塗装の違い

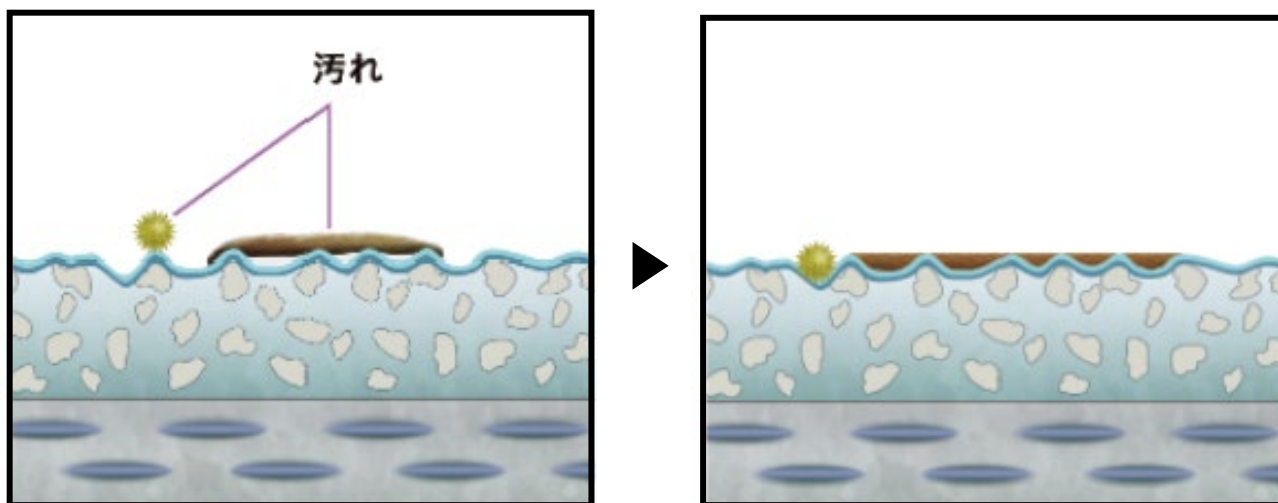


私たちが艶のあり／なしを感じるのは、物の表面に反射して私たちの目に入る光の量が関係しています。

一般的なクリア塗装は表面が平らで滑らかになっています。平らな面に当たった光は、鏡に当たった光のように一方向に正反射する量が多いため、目に入る光の量は多くなります。そのため、私たちの目には車のボデーに艶があるように映ります。

マットクリア塗装は、クリア塗料に艶消し剤を添加して表面に細かな凹凸をつけています。凹凸な面に当たった光はいろいろな方向に拡散して反射するため、目に入る光の量は少なくなります。この効果によって、マットクリア塗装が施されたボデーは艶が消えたように見える独特の質感を表現しています。

マットクリア塗装のお手入れ



お車の塗装表面に汚れが付着した場合は速やかに洗車してください

表面に細かな凹凸があるため、一般的なクリア塗装よりもマットクリア塗装は汚れが付着しやすくなります。そのまま放置すると、付着した汚れは塗装表面の隙間に入り込んでしまい落としにくくなります。また、凹凸のある塗装表面が平らに近づくことで艶が出てしまい、マットな質感が損なわれます。

そのため、こまめに洗車して、汚れたままにしておかないようにする必要があります。通常の洗車で落ちない汚れを、マットな質感を損なわずに落とすためには、汚れを塗装表面ごと削り落とした後、部品全体を再塗装する必要があります。

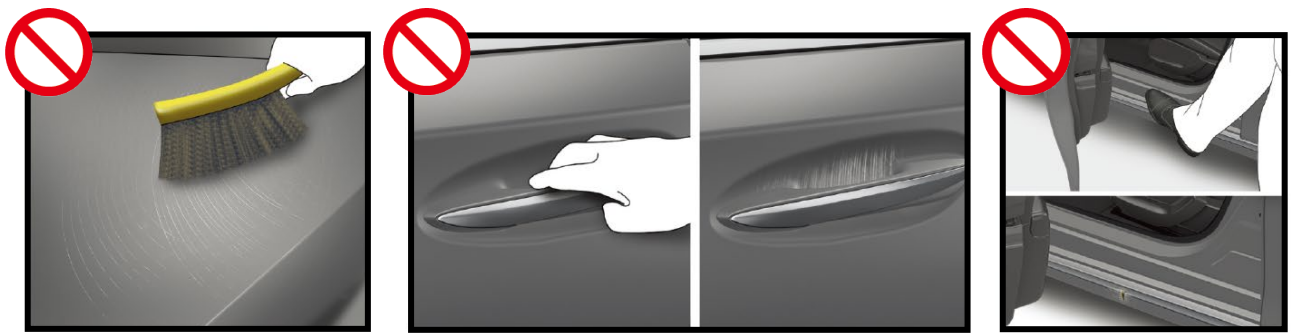
■ 落としにくい汚れ

次のような汚れは落としにくくなるおそれがあるため、付着した場合は速やかに洗車することをおすすめします。

- 樹液、落ち葉、花びら
- 泥、雪、凍結防止剤
- ガソリン、オイル

- 砂ぼこり、花粉、火山灰
- 虫の死骸、鳥のふん
- 雨水、海水

キズの補修



普段から塗装面に傷をつけないよう十分にご注意ください

一般的なクリア塗装では、細かな傷を補修するために塗装表面を研磨したり、タッチアップペイントで塗装したりします。

マットクリア塗装では、そういった方法で傷を補修すると塗装表面の凹凸が削られたり埋められたりして塗装表面に艶が出てしまい、マットな質感が損なわれるおそれがあります。マットな質感を損なわずに傷を補修するには、部品全体を再塗装する必要があります。

■一般的な通常塗装(グロス塗装)用のワックスおよびコーティング剤の使用はしないでください。

通常塗装用のワックスやコーティング剤は塗装を保護する被膜を形成します。マットクリア塗装では、この被膜が塗装表面の凹凸を埋めてしまいます。その結果、凹凸のある塗装表面が平らに近づくことで表面に艶が出てしまい、マットな質感が損なわれるおそれがあります。

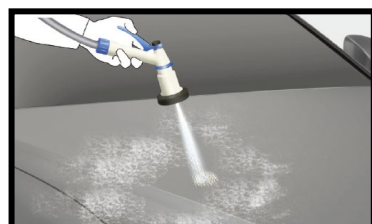
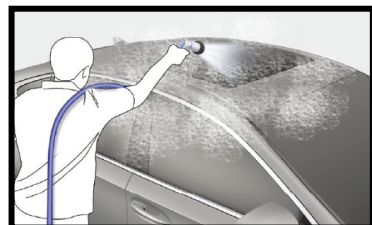
そのため、マットクリア専用開発されたコーティング剤の使用を推奨します。通常塗装兼用の商品などの使用はお控えください。



日陰や夕方などの太陽光の少ない環境で、手洗いによる洗車をおすすめします

1 車体表面の砂やほこりを、十分に水をかけて 車体の上から下へ洗い流す

荒い流した部分に汚れが飛び散るのを防ぐため、タイヤなど足回り部品がひどく汚れている場合は、先に足回りの汚れを洗い流します。目立った汚れが落ちずに残っている場合は、ホースやシャワーノズルを近づけて、やや強めの水圧で押し流します。



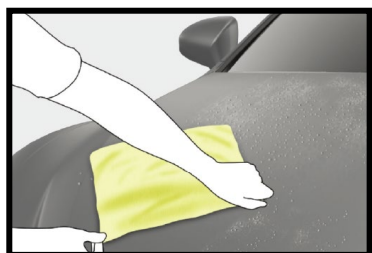
2 十分に水をかけながら、柔らかいセーム皮で車体を 軽くふく

手順1 同様に車体の上から順に汚れを落としていきます。



3 車体を強くこすらないように気をつけながら、 別の柔らかいセーム皮で車体表面の水滴をふき取る

水道水に含まれるカルキなどの成分は、水分が乾燥することで塗装表面に白く残る場合があります。現水滴が乾く前に速やかにふき取ってください。水洗いに使用したセーム皮をふき取りに使用しないでください。



注意事項

塗装面の傷付きやマットな質感の低下を防ぐために次の注意をお守りください。お守りいただかないと、塗装面に傷が付いたり艶が出てマットな質感を損なったりするおそれがあります。

- 洗車ブラシを使用しない
- コンパウンド（研磨剤）を使用しない
- 塗装面を強くこすらない
- 洗車機を使用しない
- 電動ポリッシャーを使用しない

■洗車全般

Q	A
洗車してもいいですか？	汚れが付着したらただちに洗車してください。
こまめに洗車したほうがいいですか？	
どうやって洗車したらいいですか？	水とセーム皮を使用して手洗いしてください。
洗車時に気をつけることはありますか？	まずは水で車両全体を上から順にしっかりと洗い流してください。
自動洗車機を使用してもいいですか？	使用しないでください。
高圧洗浄機を使用してもいいですか？	

■汚れが付着したら

次のような物質が付着した場合、どのように対処すればいいですか？

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉 ・花びら ・小枝 	ただちにに取り除いてください。車体に傷が付くおそれがあります。また、汚れや樹液が固着して取れなくなり、マットな質感を損なうだけでなく、塗装そのものを傷めるおそれがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・花粉 ・砂ぼこり ・虫の死骸 ・鳥のふん ・油汚れ 	<p>ただちに洗い流してください。水洗いで落ちない場合は、中性洗剤*を使用してください。汚れを放置すると固着して取れなくなり、マットな質感を損なうだけでなく、塗装そのものを傷めるおそれがあります。</p> <p>*撥水材、ワックス、コンパウンド（研磨剤）入りの中性洗剤は使用しないでください。</p> <p><中性洗剤を使用した洗車の仕方> 中性洗剤を水に入れてよく混ぜます。柔らかいセーム皮にその洗剤液を十分染み込ませ、含有物につけます。中性洗剤の働きによって汚れが浮き出すのを待ち、車体を強くこすらないように気をつけながら、セーム皮で軽く数回汚れをふきます。その後、十分な水で速やかに含有物と洗剤液を洗い流します。</p>

Q	A
<p>以下のようなメンテナンス溶剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガラス用撥水コーティング剤 ・ ガラス用油膜取り ・ タイヤクリーナー ・ オイル ウォッシャー液 	<p>ただちにふき取ってください。 成分によっては、ふき取ってもマットな質感を損なうおそれがあります。</p>

■洗車用品について

Q	A
<p>何を使って汚れや水滴をふき取ればいいですか？</p>	<p>柔らかいセーム皮を使用してください。</p>
<p>水アカ取りを使用してもいいですか？</p>	<p>おすすめできません。マットな質感を損なうおそれがあります。 特にアルカリ性の製品や研磨剤が含まれている製品を使用しないでください。マットな質感を損なうおそれがあります。</p>
<p>グロス塗装用のワックスやコーティング剤を使用してもいいですか？</p>	<p>使用しないでください。マットな質感を損なうおそれがあります。</p>
<p>鉄粉除去剤を使用してもいいですか？</p>	
<p>ピッチクリーナーを使用してもいいですか？</p>	<p>使用しないでください。塗装そのものを損なうおそれがあります。</p>
<p>マットクリア塗装専用クリーナー/ワックスを使用してもいいですか？</p>	<p>おすすめできません。 マットクリア塗装本来の質感に影響が出るおそれがあります。</p>
<p>市販品でおすすめの洗車用品はありますか？</p>	<p>特に指定はありません。柔らかいセーム皮と必要に応じて中性洗剤、精製水をお買い求めください。</p>

■ボディーコーティングについて

Q	A
コーティングは施工可能ですか？	コーティングの施行は可能ですが、マットクリア専用のコーティングを推奨します。マット塗装専用のコーティングを取り扱うプロショップまたは購入販売店にお問合せください。

■補修について

Q	A
塗装面に付いた傷は補修できますか？	マットな質感を損なわずに補修するには、部品全体を再塗装する必要があります。詳細は購入された販売店にご相談ください。
コンパウンド（研磨剤）を使用してもいいですか？	使用しないで下さい。マットな質感を損なうおそれがあります。
タッチアップペイントを使用してもいいですか？	マットな質感は表現できませんが、サビや腐食防止の応急処置としてご使用いただけます。マットな質感を損なわずに補修するには、部品全体を再塗装する必要があります。詳細は購入された販売店にご相談ください。

■アクセサリ-他

Q	A
車体にステッカーやラッピングフィルムなどを貼り付けてもいいですか？	マット塗装が剥がれる恐れがありますので、貼り付けないでください。
車体にマグネット式の標識などを付けてもいいですか？	マット塗装が剥がれる恐れがありますので、貼り付けないでください。ただし、必要な場合は、貼り付け箇所の砂やほこりを水で十分に洗い流し、水滴をふき取ってから付けてください。

■日頃の駐車場所

Q	A
駐車場所で気をつけることはありますか？	車の塗装は紫外線や雨などの影響で自然に劣化します。少しでも長く塗装面を良好な状態に保つために、直射日光や雨風、地面からの湿気を遮ることができる舗装された車庫に駐車されることをおすすめします。
カーカバーを使用してもいいですか？	おすすめできません。 カーカバー内側の素材が塗装面を傷付けるおそれがあります。